

II 特別シリーズII

科学技術
振興機構 『さくらサイエンスプラン』友情と感激

鹿児島工業高専の活動報告



植村 眞一郎
(鹿児島工業高等専門学校
電子制御工学科嘱託教授
・名誉教授)

ベトナム・ダナン科学技術
大学との学生相互交流

①プログラムの概要

科学技術振興機構(ＪＳＴ)におけるさくらサイエンスプランよりご支援頂き、平成28年10月5日～13日の9日間にわたり、ダナン科学技術大学(以下ダナン科技大と呼ぶ)から学生9名、引率教員2名を鹿児島高専へ招聘しました。本プログラムは日本の先端科学技術について研修してもらうことが主目的であり、併せて高専の学生との科学技術に関する学生相互交流も企画したものです。

ダナン科技大は、ベトナムのほぼ真ん中に位置する港町で中部最大の商業都市として発展してきたダナンにあるダナン大学傘下の科学技術大学です。機械系、電気電子系、情報通信系、環境系など14の学部と学部・大学院併せて学生数17000人を擁する中部ベトナム最大の大学です。当大学と本校との交流の始まりは、平成26年にダナン市が福岡市で行ったダナン紹介プロモーションに参加したことがきっかけで、ダナン科技大を紹介してもらいました。

今回、ダナン科技大の学生を招聘するに当たり、特徴的な企画として、高度なものづくりの代表的なイベントである高専ロボコンの九州沖縄地区大会の見学をプログラムに組み入れました。そして大会の見学だけでなく、全国大会出場を決めた都城高専の学生の協力を頂き、ダナン科技大の学生とロボット製作についての意見交換を行いました。

また、学生交流の他に、鹿児島には日本を代表する電子技術分野や車両設計分野など先端科学技術を駆使した企業や、宇宙技術開発を推進している2つのロケット発射場があります。今回は、企業見学としてSONYおよび、トヨタ車体研究所の見学をさせて頂き、加えて海外の学生にとってはなかなか訪問する機会のないJAXA内之浦宇宙空間観測所

プログラム	
1日目	鹿児島到着、午後SONY見学
2日目	午前専攻科授業参加と学内見学ツアー、午後トヨタ車体研究所見学
3日目	鹿児島市世界遺産尚古集成館見学、午後市立科学館見学、桜島観光
4日目	高専ロボコン九州大会見学
5日目	自由行動・学生と鹿児島市内へ散策
6日目	黒酢工場見学、JAXA内之浦宇宙空間観測所見学、都城高専訪問
7日目	都城高専PBL授業参加、午後霧島酒造見学、夕方鹿児島空港発羽田着
8日目	成田へ移動、成田発ダナンへ

られており多くの人に楽しんでもらっています。ダナンの学生も非常に熱心に興味深く見学していました。また鹿児島と都城の両高専の授業では、ともにものづくり授業に参加してもらいました。また、ロボットなどものづくりの課外活動も見学し、ロボット製作について相互の意見交換等を行い、短い時間でしたが工学を学ぶ者同士の有意義な体験になったようです。

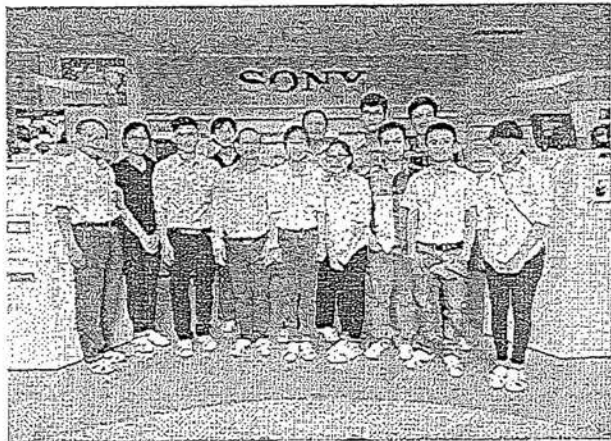
一方、企業見学ですが、SONY工場とトヨタ車体研究所を見学しましたが、ここで感嘆したのはダナン科技大学の学生はこれらの見学先で真剣な面持ちで聞き入り、驚くほど熱心に質問して日本の科学技術に対しても関心が高いこととその向学心に圧倒されました。

鹿児島市の文化施設の研修では、昨年7月に世界文化遺産に登録された尚古集成館を始め、鹿児島島のシンボルでもある桜島、さらに市立科学館へも週末の時間を惜しんで出かけ

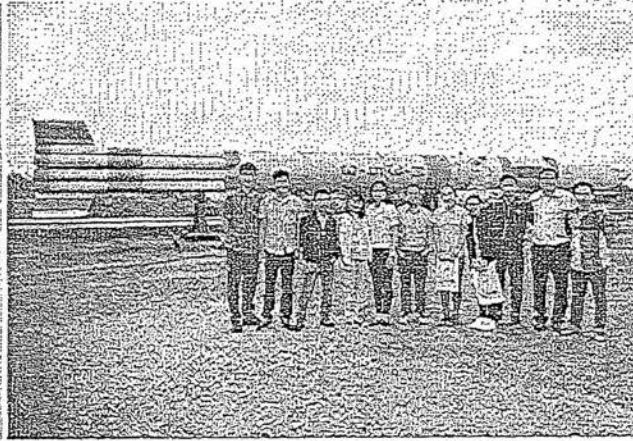
第90回

の見学も企画しました。プログラムの成果は訪問期間中に鹿児島高専のホームページに掲載されています。高専ロボコン大会の見学も企画しました。高専ロボコンは各高専が作成するロボットの製作技術と競技のレベルが高いことで知られています。

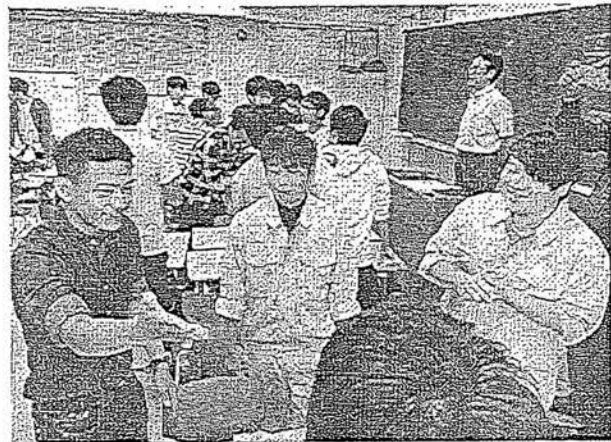




SONY Semiconductor見学



JAXA内芝浦宇宙空間観測所見学



都城高専におけるものづくり授業での交流



鹿児島高専の授業に参加

ました。彼らにとつて見るものが全てが新鮮で、疲れなど全く見られない様子でした。これらの交流の成果として、鹿児島高専を含む九州沖縄の9つの高専とダナン科技大とが平成29年2月にMOUを締結しました。この締結により相互交流において双方が様々な便宜を図り、今後の交流が円滑に行えるベイスが確立されたことは大きな前進です。

③今後の展望

アジアの学生は日本にとつても興味を示し日本訪問を希望する学生が多いのですが、経費の面で日本訪問が実現できない学生にとつては、とても貴重な支援プログラムです。それは、ベトナムも同じで、今回招聘した学生たちにとつても優秀で日本の先端科学技術を目の当たりにし感嘆しているのを見ると、私達まで嬉しくなります。さらに、同じ年代の学生との交流を通して双方の理解・親睦が国境の壁を少しづつ取り払ってくれているのを感じます。海外の学生だけでなく日本の学生に対しても、

海外、特にアジアに目を向けられるととても素晴らしいプログラムです。

今回のダナン科技大の学生招聘をきっかけに、本校と都城高専の学生がこの夏の海外研修旅行でベトナムのダナン科技大を訪問することになっていきます。ベトナムは、近年日本からの多くの企業が進出していることでよく知られていますが、学生にとつては同じ東南アジアの国でありながら馴染みのない国の一つです。しかし、今回のダナン科技大の学生との交流を通して、高専学生の意識が変わったように思います。ダナン科技大の学生は男女を問わず、科学技術に対する関心がとても高く、工場見学などでは熱心に研修し、よく質問します。また、彼らはとても明るく朗らかな学生達であったこともあり、高専の学生も非常に親近感を抱いたように思います。その為もあるが、ベトナムへの海外研修旅行に関心を示す学生が多くなります。また是非次回も南九州に呼ぶことを計画しており、まだ歴史の浅い交流活動ではありますが、今後も更に交流を深めていきたいと思っています。

これからますます海外、特にベトナムをはじめとして東南アジアへ進出する企業も多く、そのような企業に就職する技術系学生にとつて、アジアの国、アジアの学生と交流を持つ機会が増えることは、キャリア教育における視野を広げることに、将来の日本の技術を支える学生の素養資質を高めることに繋がります。今後とも是非さくらサイエンスプランが継続されることを熱望します。